

標準化の普及活動について

2019年2月1日

JAHIS

標準化推進部会 普及推進委員会

今年度の活動

- JAHISサイトの改修
- 普及推進パンフレットに関するアンケート
- その他

第一の目的として

現場最前線にいる営業マンが医療情報の標準化に対する取組みを理解し、積極的に提案できるよう普及活動を行う。

営業中心のメンバー構成

委員長 : 富士通株式会社
副委員長 : 日本電気株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社、株式会社日立製作所
株式会社NTTデータ アイ、株式会社ソフトウェア・サービス
東芝メディカルシステムズ株式会社
(現: キヤノンメディカルシステムズ株式会社)

2010年
発足

トップ > 部会情報 > 標準化推進部会

お知らせ 概要・組織 国際活動 標準化/イベント

お知らせ

- 2018/08/31 HIMSS18報告書を掲載しました。
- 2018/02/09 社29年度標準化推進部会 業務報告会開催
- 2017/07/05 HIMSS17報告書を掲載しました。
- 2017/05/23 標準化推進部会 組織・役員表 構成を更新しました。
- 2017/02/14 J.A.H.I.S申請書(国内標準版)を更新しました。
- 2015/04/01 最新の国際標準化総覧を「国際活動」に掲載致しました。

お問い合わせは標準化推進部会まで
Tel:03-3506-8010 / Fax:03-3506-8070

JAHISサイトの整備

入会案内
入会案内
標準化/イベント
標準化/イベント
ID/PASSページ
JAHIS 教育コース
2018のご案内
医療情報
システム入門
一般社団法人
ヘルスソフトウェア推進協議会
HIMSS AsiaPac18
November 2018
Singapore, Thailand &
Australia, China, India
医療IT EXPO 2018
2018/2/20(水)～22(金) インテックス大塚

- ・JAHISホームページからパンフレットの画面までの遷移が複雑
→ 直結するリンクから、パンフレットに飛ばしたい。
- ・サイトへの訪問回数や評価が不明
→ アクセスカウントの機能や「いいね！」機能
- ・スマートフォンへの表示
- ・「オーバービューチャート」の各用語との対応
→ リンクをはり、詳細URLへジャンプ。
(ex. 処方データ交換規約 → JAHIS標準の対応項目のURLへ)
- ・最新の標準類への対応
→ JAHIS標準に関しては、旧版に最新版へのリンクをつけ、最新情報へ

- ・JAHISホームページからパンフレットの画面までの遷移が複雑
→ 直結するリンクから、パンフレットに飛ばしたい。



・最新の標準類への対応

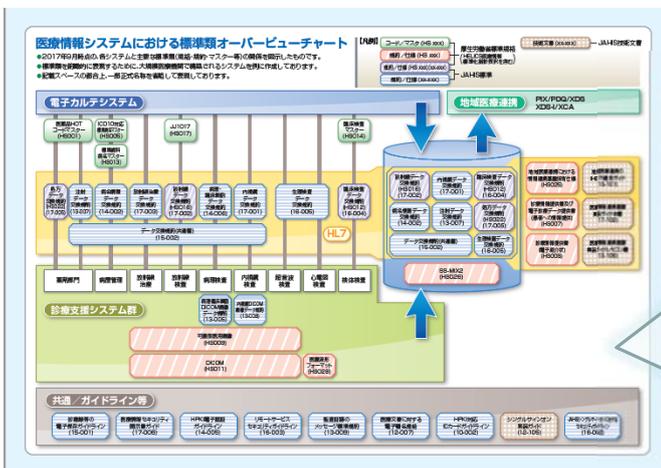
→ JAHIS標準に関しては、旧版に最新版へのリンクをつけ、最新情報へ



・「オーバービューチャート」の各用語との対応

→ リンクをはり、詳細ULRへジャンプ。

(ex. 処方データ交換規約 → JAHIS標準の対応項目のULRへ)



普及推進パンフレットに関するアンケート

これまでのあゆみ

約10年前・・・

様々な規格があり、よくわからない

標準化の取組団体が分散していてわからない

自社プロダクトのどの部分が標準化に対応しているかわからない。

標準化のメリットがわかりにくい

標準化を定義するのは誰なのか？

これまでのあゆみ

標準化に関する各項目の理解度

標準化に関する各項目の理解度、顧客からの問合せについてスコアで回答してもらう

【項目】

- ① 医療情報の標準化
- ② 自社の標準化の取組み
- ③ IHE-J
- ④ SS-MIX
- ⑤ JAHIS標準類
- ⑥ 標準マスタ
- ⑦ 総合運用性実証事業
- ⑧ HL7
- ⑨ DICOM

【回答】

- 理解度スコア
- 1:知らない
 - 2:単語レベル
 - 3:概要説明
 - 4:目的内容説明
- 顧客からの問合せ
- 1:ある
 - 2:ない

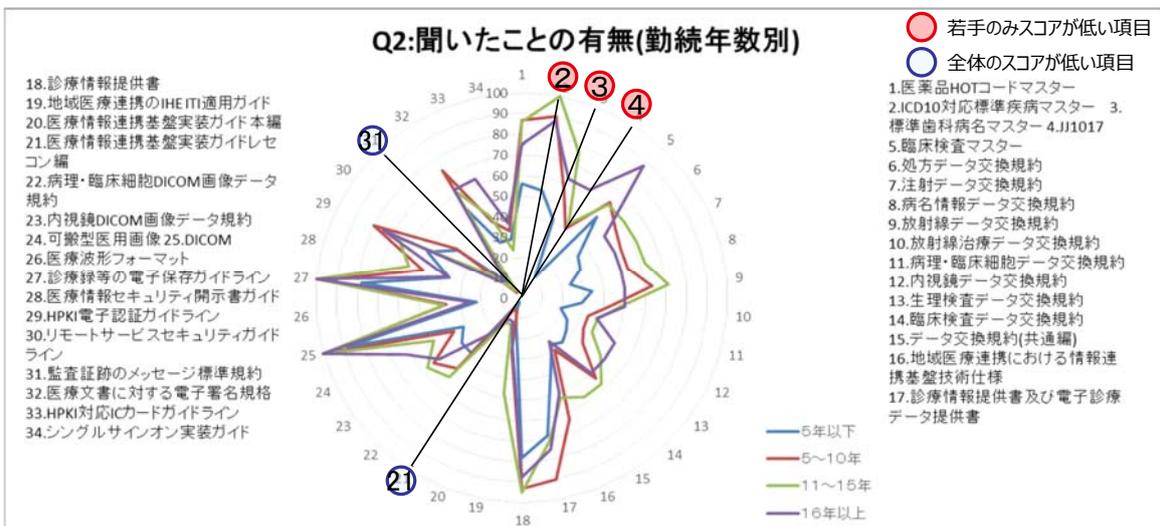
有効回答

**営業
100名**

※営業経験年数毎に区分け

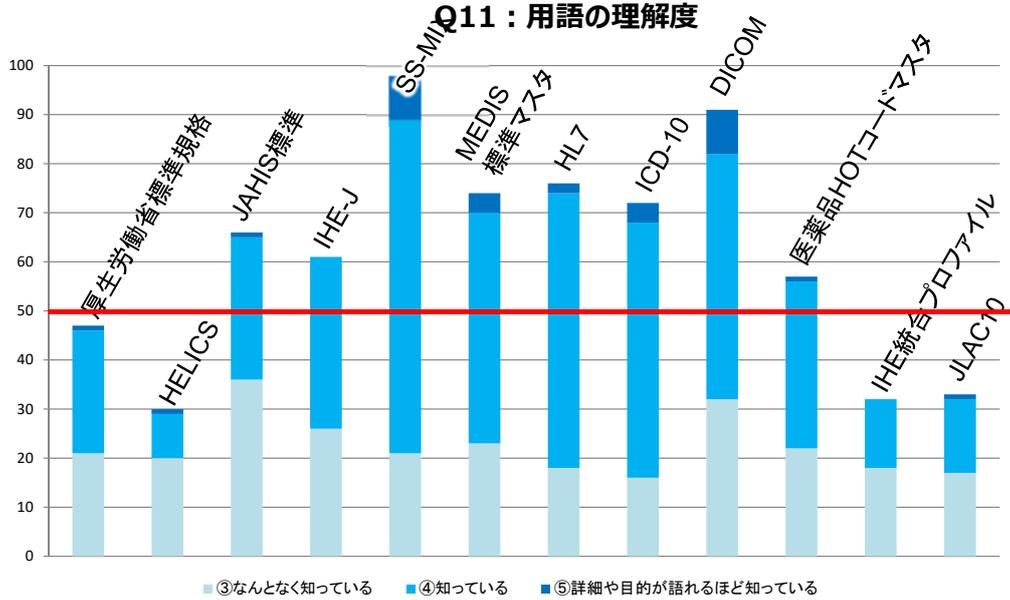
これまでのあゆみ

- ◇ 熟年のスコアが高いものは若手でもスコアが高い傾向だが、2,3,4のマスタ関連のみ、若手がかけ離れてスコアが低い傾向となっている
- ◇ 16年以上のベテラン営業のスコアが低い用語もいくつかある。



これまでのあゆみ

Vol1&2で解説した用語(12)を知っていますか。



一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

パンフレット集約版 表

(これだけ知っておきたい)

医療情報システム標準化関連用語①

<p>厚生労働省標準規格</p> <p>HELICS協議会</p>	<p>JAHIS標準</p> <p>IHE-J</p>
<p>SS-MIX2</p> <p>MEDIS標準マスター</p>	<p>HL7</p> <p>DICOM</p>
<p>IHE統合プロフィール</p> <p>JLAC10</p>	<p>ICD-10</p> <p>医薬品HOTコードマスター</p>

医療情報システムの標準化について
【集約版】

これまでVol.3まで出たけど全部持ち歩くのは大変だ……

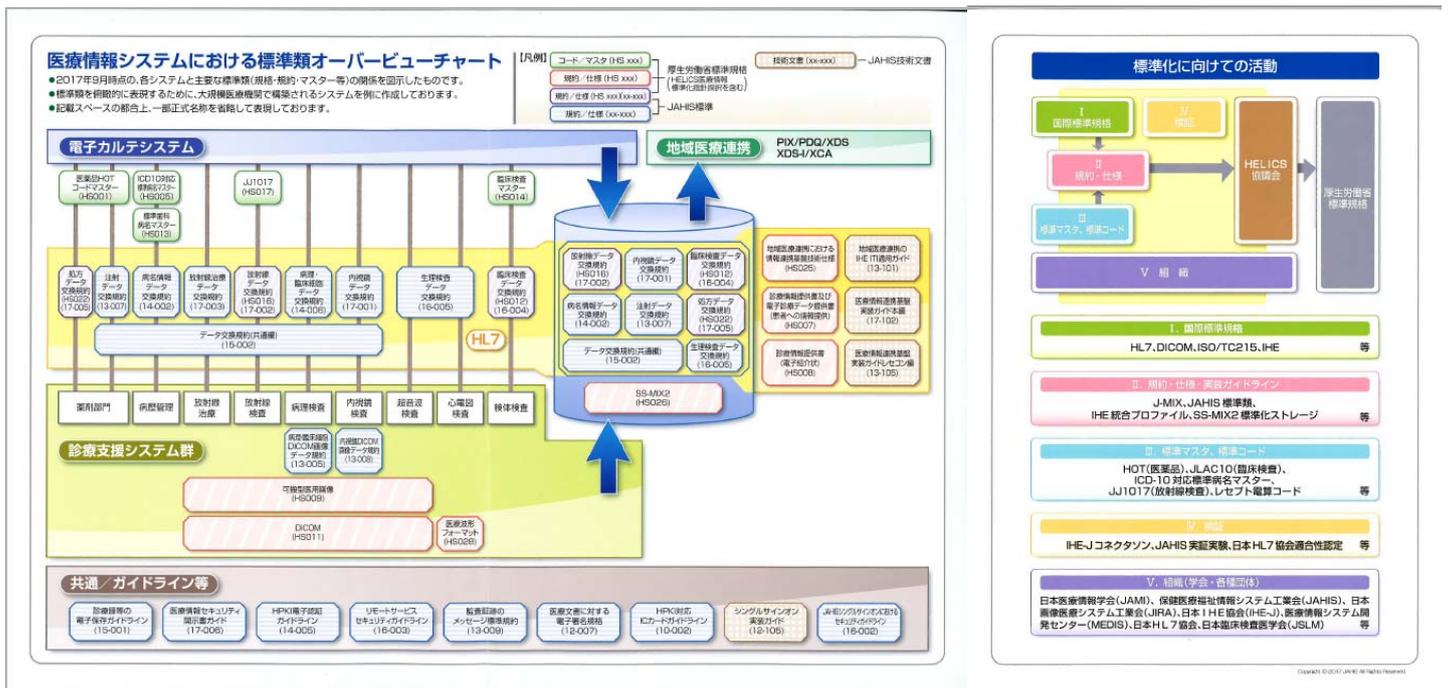
それそれがまとまっていないと見にくい……

Vol.1からVol.3を集約したので、もう一度勉強だ！

Vol.1で出した用語をまた忘れてしまった。

© JAHIS 2018

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会



JAHIS アンケート内容 「現場」での標準化の理解度を確認

- ◇無所属・無記名で回収
- ◇実施総数は前回と同様に有効回答数100が目標
- ◇回答、集計の効率化から、エクセルデータをメールにて送付し、アンケートを記入してもらう。
- ◇若手営業のスキルの確認として、可能な限り「医療情報システム営業」の経験年数が少ない営業を中心にアンケートを実施する。
- ◇**各パンフレット発行時にアンケートで確認した標準類の理解度も確認する。(12用語)**
- ◇今回のアンケートで新規に実施する確認項目は
 - ・**認知度 (各カテゴリー、オーバービューチャートの24項目の各単語) 、活用頻度**
 - ・2次元バーコードについての意見
 - ・オーバービューチャートの配置について理解しやすいか

- Q0 : 医療情報営業の**経験年数**
- Q1 : 標準類の**理解が深まったか**
- Q2 : パンフレットVol3に**記載の用語(24)を聞いた事**あるか
- Q3 : パンフレットVol3に**記載の用語(24)を頻繁に使用**しているか
- Q4 : オーバービューチャートのレイアウトは把握しやすいか
- Q5 : 各詳細サイトへリンクする2次元バーコードは利用しやすいか
- Q6 : 顧客への提案時に役立つと思うか
- Q7 : パンフレットを見て新しい気づきがあったか
- Q8 : **標準化が進んでいる**と感じたか
- Q9 : 更なるパンフレットを希望するか
- Q10 : 続編で期待することは何ですか (自由記述)
- Q11 : **パンフレットVol1&2で解説した用語(12)を知っていますか。**

- ・収集・統計の実施を考え、エクセルシートでの実施をしたが、不具合があり、今後、ネットを活用したアンケートを考える
- ・前回に比べて、標準化が少しずつ浸透している様相
- ・ベンダー営業だけでなく、実際に顧客の声をヒアリングしてみたい。

前回アンケート比較①

Q11：用語の理解度	比率		
	2017	2018	増減
A.厚生労働省標準規格	47%	55%	8%
B.HELICS	30%	29%	-1%
C.JAHIS標準	66%	71%	5%
D.IHE-J	61%	70%	9%
E.SS-MIX	98%	99%	1%
F.MEDIS標準マスター	74%	75%	1%
G.HL7	76%	79%	3%
H.ICD-10	72%	86%	14%
I.DICOM	91%	93%	2%
J.医薬品HOTコードマスター	57%	63%	6%
K.IHE統合プロファイル	32%	43%	11%
L.JLAC10	33%	46%	13%

各用語に関する認知度

- ・各用語に関しての認知度は2017年度アンケートに比して2018年度では概ね増加

前回アンケート比較②

行ラベル	①5年以下	②6年～10年	③11年～15年	④16年以上	総計	合計
25.DICOM	0.97	1.00	1.00	1.00	3.97	3以上 (平均0.75以上)
35.SS-MIX2	0.95	1.00	1.00	1.00	3.95	
18.診療情報提供書	0.85	0.92	0.96	0.95	3.67	
27.診療録等の電子保存ガイドライン	0.77	0.92	0.96	1.00	3.65	
2.ICD10対応標準疾病マスター	0.72	1.00	0.92	0.95	3.58	2～3 (平均0.5～0.75)
1.医薬品HOTコードマスター	0.59	0.80	0.75	0.89	3.03	
17.診療情報提供書及び電子診療データ提供書	0.59	0.68	0.78	0.89	2.95	
5.臨床検査マスター	0.51	0.76	0.75	0.89	2.92	
29.HPKI電子認証ガイドライン	0.67	0.76	0.71	0.68	2.82	1.5～2 (平均0.38～0.5)
3.標準薬剤病名マスター	0.36	0.80	0.63	0.58	2.36	
28.医療情報セキュリティ開示書ガイド	0.36	0.64	0.54	0.79	2.33	
32.医療文書に対する電子署名規格	0.23	0.68	0.54	0.68	2.14	
23.内視鏡DICOM画像データ規約	0.41	0.68	0.46	0.58	2.13	1以下 (平均0.25以下)
24.可搬型医用画像	0.38	0.48	0.63	0.63	2.12	
22.病理・臨床細胞DICOM画像データ規約	0.49	0.64	0.42	0.53	2.07	
26.医療波形フォーマット	0.36	0.68	0.58	0.37	1.99	
6.処方データ交換規約	0.26	0.56	0.42	0.63	1.86	1以下 (平均0.25以下)
33.HPKI対応ICカードガイドライン	0.28	0.52	0.42	0.63	1.85	
9.放射線データ交換規約	0.23	0.48	0.54	0.58	1.83	
16.地域医療連携における情報連携基盤技術仕様	0.33	0.56	0.50	0.42	1.81	
4.J1017	0.18	0.44	0.50	0.68	1.80	1以下 (平均0.25以下)
7.注射データ交換規約	0.23	0.52	0.42	0.63	1.80	
8.病名情報データ交換規約	0.23	0.48	0.38	0.58	1.66	
19.地域医療連携のIHE ITI適用ガイド	0.24	0.40	0.46	0.53	1.62	
14.臨床検査データ交換規約	0.15	0.40	0.42	0.58	1.55	1以下 (平均0.25以下)
30.リモートサービスセキュリティガイドライン	0.28	0.40	0.33	0.47	1.49	
13.生体検査データ交換規約	0.15	0.32	0.38	0.53	1.38	
34.シングルサインオン実装ガイド	0.21	0.40	0.29	0.47	1.37	
12.内視鏡データ交換規約	0.18	0.28	0.38	0.53	1.36	1以下 (平均0.25以下)
36.JAHISシングルサインオンにおけるセキュリティガイドライン	0.16	0.28	0.39	0.56	1.34	
15.データ交換規約(共通編)	0.23	0.32	0.33	0.42	1.31	
10.放射線治療データ交換規約	0.18	0.32	0.29	0.42	1.21	
11.病理・臨床細胞データ交換規約	0.21	0.28	0.25	0.37	1.10	1以下 (平均0.25以下)
20.医療情報連携基盤実装ガイド本編	0.03	0.28	0.25	0.26	0.82	
71.医療情報連携基盤実装ガイドレセコン編	0.05	0.20	0.13	0.21	0.59	
31.診療録のメッセージ標準規約	0.00	0.15	0.08	0.21	0.45	
総計	13.01	20.00	18.76	22.13	73.90	

各用語に関する年代別理解度割合

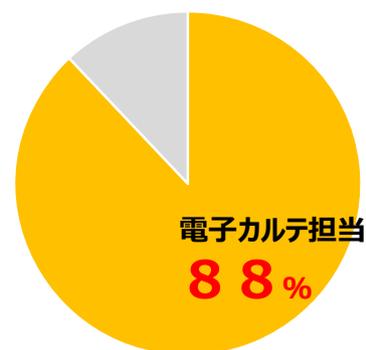
- ・理解度の人数割合で降順に並べ替え
- ・年代別に理解度の人数割合で区分した項数
①5年以下 ②6～10年 ③11～15年 ④16年以上 ⑤各年代総計

	①	②	③	④	総計
75～100%	4	9	8	9	6
50～74%	5	9	9	17	9
35～49%	3	9	11	5	9
25～34%	7	6	6	3	9
24%以下	17	3	2	2	3

・認知度上位の項目は営業として知っていることが望ましいと思われる傾向が強く出ている。

・営業といっても専門分野が異なる可能性もあり、同一の基準で理解を求めるときではないのでは・・・

・認知度が低いものがあったとしても使うべき人が使っていれば良いこともある。



【今後、考慮すること】

- ・診療所領域
- ・中小規模病院領域

- ・若年層の底上げをすれば、中堅も認知度・理解度があがるのではないか
- ・熟年層が中堅層より認知度が低い項目がある
 - ⇒熟年層は現場から離れているからか
 - ⇒現場トレンド（補助金など）から遠いからか
- ・若年層には項目が多いかもしれない
 - ⇒優先的に知っておく必要があるものを認定したほうがよい



更なる普及のためパンフレットの配布とともに
普及セミナーを開催

- ★ 知っておく必要があるものと、そうでないものを仕分けする。
- ★ 受講意欲を駆り立てるためのアイデアが必要
- ★ JAMI連合大会、シンポジウム、ホスピタルショウなどのイベントとコラボする。
- ★ 常に学習し、スキル向上をさせる
- ★ 実際のユーザーにおける事例がわかりやすいのではないか
- ★ ホームページのアクセス数から、興味関心の高さを調査し、セミナーを検討

ターゲット：現場最前線にいる若年層の営業マン

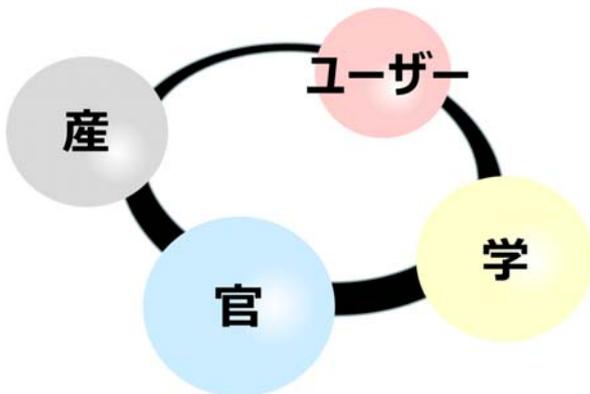
- ① **標準化に関するレベリング**
 - ⇒ 理解すべき標準化の優先順位
- ② **JAHISセミナー実施**
 - ⇒ 教育カリキュラムへの組み込み
 - ⇒ 生涯学習ができるようなe-Learningも考慮
 - ⇒ 提供ベンダーとしての資格認定（初級・上級）も考慮
 - ⇒ インセンティブ
- ③ **年度によるホットキーワードに関する研修会の開催**



その他

医療情報学会 チュートリアル

2018/11/22
「HELICSチュートリアル」
標準規格の普及度について考える





JAHIS

アンケート結果から
「情報提供」パンフレット
に加え
「知ってほしいことの啓発」セミナー
を実施する

「標準化の普及、認知度を高めることで会員各企業
やお客様に対して価値を提供できることが重要」

「標準化が存在しているからこそ、具体的な技術検討
の議論や企業間の競争が成り立つ」

ご清聴ありがとうございました